

# 社会司牧通信



202602

## ★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。



### ★教皇レオ十四世、「聖フランシスコ年」を公布 | カトリック中央協議会

【期間】2026年1月10日～2027年1月10日



### ★核兵器のない世界のためのパートナーシップ（PWNW）からの声明 2026/1/22 | 核兵器のない世界のためのパートナーシップ

核兵器禁止条約 発効5周年を祝して、アメリカ・サンタフェ教区・シアトル教区・日本の広島教区・長崎教区の司教団からのメッセージです。



### ★カリタス広島 ホームページ&リーフレットが出来ました！

教区報と一緒に配布します。

新生「カリタス広島」よろしくお願ひします！

[カリタス広島 - カトリック広島司教区](#)



### ★能登地震災害支援キャンペーン -のとのとなりに - Caritas Japan

発災から2年が経ちました。のとでは、まだボランティアを募集されています。

引き続き、のとを支えていきましょう！

買って応援！企画も載っています。小教区で企画してみませんか？

### ★平和アピール1981 (岡山鳥取地区は11月に終了しています。)

・広島地区 2月22日(日)・25日(水)

・山口島根地区 2月14日(土) 10:30～15:30

場所：カトリック細江教会

過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことです  
聖ヨハネ・パウロ2世

平和アピール1981

バック・トゥ・ザ・フューチャー  
～将来を背にして過去を振り返る～

講師：川本 隆史さん  
『広島教区百年史』編纂委員会 委員長  
2026年

2月22日(日)

11:00～12:30

会場 カトリック会館1F 多目的ホール  
〒730-0016 広島市中区幟町4丁目4-2

参加費 無料

YoutTube配信あり

QRコード



配信  
QR  
コード

平和アピール1981  
一聖ヨハネ・パウロ2世教皇来日記念平和行事—

難民シェルターの現場から  
～ともに歩む社会を目指して～

日 時 2026年2月14日(土) 10:30～15:30  
場 所 カトリック細江教会(下関市細江町1丁目9-15)  
講 師 アルベなんみんセンター  
松浦 由佳子 さん

講師略歴 大学卒業後、国際協力機構（JICA）で約11年間、海外の貧困問題、開発支援に携わる。駐在先のアフガニスタンでの出会いから、日本国内の難民問題に関心をもち、取り組む。難民支援団体、留学、開発コンサルタント等を通じて、2022年4月にNPO法人アルベなんみんセンターに入団。定住支援を担当。

#### タイムスケジュール

10:00～受付  
10:15～平和アピール朗読  
10:30～開会  
10:35～講話  
12:00～昼食・休憩  
13:00～分かち合い  
14:15～全体会・ミサ  
15:30～閉会



#### お問い合わせ

お問い合わせは各自ご準備下さい。  
宿泊料金に限りがございますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。

※参加人数を各教会でとりまとめて、2月4日(水)までに、下記の連絡先まで、メールにてお知らせください。

メール連絡先 shippo-tarezoi115@web.ne.jp 事務局 大曲信介  
主催 山口島根カトリック正義と平和協議会

## ★ チャレンジコラム vol.40

### 『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』 (9) 「わたしたち」



ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ  
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

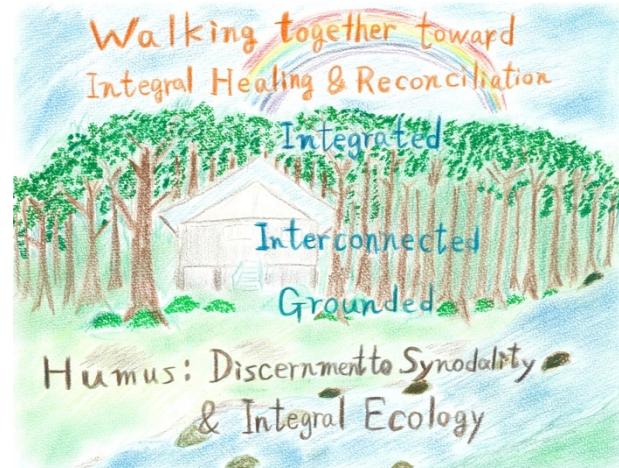
「待降節の黙想会に来てくれた神父さんが教えてくれたんだけど、主の祈りでさ、わたしたちの罪をおゆるしてください、っていう、その。“わたしたち”っていうのが大切なんだって。英語で言うと Our Father っていうから、わたしたちのお父さんへ、って呼びかけているんだよね。あの時から、“わたしたち”っていうのが私のテーマになっているんだよね。」そうメグミがわかつちあってくれた。すると、ジンコも言う。「そうか、最近私の祈りと似ているなあ。わたしは、テゼっていう超教派（キリスト教のさまざまな教派の枠を超えた集い）の祈りの集まりの中で“わたしたちを一つにしてください”って祈ったのが心に残って、それを祈ってるんだ。」

月に一度、マコと青年仲間の数名で、瀬川神父の同伴のもと、わかつちあいをしている。瀬川神父の修道会の靈性を土台にしている信徒のグループの青年バージョンだ。マコは、仲間たちのわかつちあいが一つのテーマで結ばれていることを感じて、その不思議さに感動していた。

瀬川神父が言った。「みんなのわかつちあいを聞いていたらさ、一つのイメージを思い出したよ。というか、僕が描いた絵なんだけどさ。前回はマコにも僕の代わりに会議で行ってもらったんだけど、フィリピンのミンダナオで、うちの修道会のアイルランド人の神父さんが先住民のための教育施設とエコロジーセンターをしているんだけど、そこにアジアの仲間たちで集まって、僕らがこれから向かっていくビジョンをみんなで語りあおうということになったんだ。その時にシノドスの文書が一つの祈りの材料になったんだけど、そこで言われてるのはさ、関わりを大切にするという点を大切にすることで、シノダリティとエコロジーは共通していて、お互いを支えあうということだったんだ。そして、仲間たちそれぞれの描くビジョンが一致していたんだよね。それを僕が任されて、最終的に絵にしてみたんだ。」

そう言って、瀬川神父が絵を見てくれた。ああ、神父さんも同じ想いを共有していたのだ、と実際にその次の会議に行かせてもらって体験したマコは思った。その絵は、フランシスコ教皇が流した川が流れている。シノダリティとエコロジーという川。どんなにこの世界に暗闇が広がっても、でも確かにこの川が流れているのを感じる。大地がこの川によって潤され、豊な土壤となる。そこに根を張る、私たち一人ひとりの木。でもお互いが関わりをもって、つながっていて、それは森を形成しているのだ。その森は美しいキャノピー（森のプロッコリーのような屋根）を描いているのだ。この森という共同体は、一つの共同体となって、世界と人々の癒しという虹に向かって歩んでいく。

瀬川神父に同伴してもらいながら、わかつちあいを続けてきて、この青年たちの仲間が“わたしたち”になってきてること、一つの舟にのって旅をしていることを感じる。瀬川神父さんが、エコロジーとシノダリティの川を流してくれることで私たちはそこから養分をもらっている。確かにこの川が流れていることを、マコも広島教区の宣教ひろばに参加して、靈における会話を体験した時から感じていた。教皇フランシスコが送った川の流れがここまで届いている、と。「わたしも渴いた大地、癒しを待っている人たちにこの川を流していこう。」マコはそう思ったのだった（つづく）



#### ★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：[desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp](mailto:desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp)

\*\*\*H·Social\*\*\*H·Social\*\*\*H·Social\*\*\*H·Social\*\*\*H·Social\*\*\*H·Social\*\*\*

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail [info@social-desk.net](mailto:info@social-desk.net)